

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年7月22日

事業所名: 若松ひまわり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて廊下等も使用し、子どもの活動の場を確保している ・パーティションでコーナーを作るなどの工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する部屋の広さについては基準内である。 ・遊びや活動によって場所や人数を分けている。
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・園全体として加配保育士を配置し手厚い支援を実施している。 ・クラスの担当職員だけではなく、職員全体でお子様の状態やクラスの状態を把握し、協力しながら対応している。 ・急な職員の欠勤にも対応できるよう日々代替の職員を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭では一つ一つの遊具に職員を配置し、お子様の動きを見守っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーにはなっていないが、教材や物の配置など危険のないよう整理している。 ・個別のスケジュールやパーティションで区切った環境設定や視覚的支援を用いるなどの工夫を行い、個人に合った環境に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレはバリアフリーになっている。 ・歩行が不安定なお子様配慮し、園庭や部屋の角、柱をクッション性のある素材で覆っている。 ・今後もお子様の状態に合わせて安心・安全な活動しやすい生活空間を提供していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃や消毒を行い、各部屋に空気清浄機を設置している。 ・定期的に空気の入替えを行っている。 ・1日を通して静と動のバランスを考えてその都度環境設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、感染症対策等に気を配り、清潔で安全に過ごせる空間を設定していく。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々、職員同士で意見交換を行っている。 ・職員会議や指導会議だけでなく、朝礼で議題を挙げ問題解決や支援の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が業務の問題を意識できるように月1回の職員会議・指導会議だけでなく、毎日の朝礼で課題を提案し、考える事で振り返りや改善に繋がるよう取り組んでいく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保護者用アンケートを実施し、改善点をホームページや園内に掲示して公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、アンケート結果を周知し、改善に向けての対応を話し合っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○		・アンケート結果や改善点については、ホームページで公開すると同時に、園内に掲示している。	・今後も職員全体で内容を周知し、改善に取り組んでいく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・市の指定管理施設としてモニタリングを実施している。	・モニタリングにより、指摘された点があれば、全職員で検討し、改善に努めている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・コンサルテーションなどを利用し、実践を交えた研修を行っている。 ・園内研修や外部研修など様々な研修を実施したり参加している。	・業務や職員の質の向上につながる研修の案内を回覧し、希望者は可能な限り受講できるように配慮している。 ・全員が知識を向上するための研修に参加できるように努めている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・面接や懇談での聞き取りや、ポータージプログラム・感覚プロフィールの評価を保護者にも付けていただき、お子様の現状やニーズを共通理解したうえで、児童発達支援計画を作成している。	・家庭訪問や懇談で、保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら、相談支援事業所と連携のもと、児童発達支援管理責任者が個々に応じた児童発達支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・遠城寺式乳幼児分析的発達検査やポータージプログラム・感覚プロフィールを全員に使用しアセスメントを行っている。また、お子様の状態に応じて総合療育センターの訓練士に依頼し、心理検査や言語の検査を実施している。	・遠城寺式乳幼児分析的発達検査と合わせて、お子様の状況に応じて、新たなアセスメントツールを利用している。(KIDS・乳幼児発達スケール)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインをもとに相談支援専門員の支援計画から児童発達支援管理責任者が、クラス担任と連携しながら、具体的な支援内容について検討し、個別支援計画書を作成している。	・今後もガイドラインに沿って個々に合った支援計画を作成し、支援内容について定期的に見直しを行っている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・児童発達支援計画を基にクラス担任が年間の目標・月の目標をたて、それに沿って日々支援を行っている。	・今後も計画に沿った課題や支援を、個別やグループ活動の中で実施していく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・お子様の発達に合わせ、クラス活動・グループ活動のプログラムをそれぞれのチームで話し合いながら立案している。	・今後も立案したクラスやグループの活動内容を、月ごとに保護者に知らせていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節に合った活動プログラムを取り入れることで、固定化されないよう心がけている。 ・インターネットを活用し、お子様が好きなキャラクターや遊びの情報を得る等して、様々な活動に取り入れている。	・今後も新しい情報を察知できるよう、職員間での情報交換の場を設定していく。 ・日常の中の様子を観察することで、お子様の興味や得意なことを知り、活動に取り入れるよう工夫をしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・お子様の特性や興味を理解したうえで、個別活動と集団活動を組み合わせ合わせて支援計画を作成している。	・今後も、支援計画の目標については、職員間で話し合いながら活動を組み合わせ、状況に応じて見直ししていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・前日や当日の朝礼後に、クラスやグループ職員間で細かい内容を打ち合わせている。 ・役割を記載した表を掲示し、いつでも確認できるようにしている。	・日々代替の職員に関しては、各クラスの職員がその日の役割を確実に伝達するように配慮している。 ・事前に打ち合わせできないことがわかっている場合は、前日に打ち合わせをしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日、就業15分前に、クラス職員間でその日の振り返り、情報交換、支援の見直し等を行っている。 ・記録を付け、不在の職員も情報が共有できるようにしている。	・お子様の降園後は、支援の記録や振り返りをする時間を設けている。 ・クラス職員だけでなく、全員に周知したい事柄については、翌日の朝礼で周知するようにしている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録のほかに、日々の支援目標をチェックリストにして、見直しを行っている。	・今後も記録を活用して支援の検証・改善につなげていく。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・児童発達支援管理責任者が半年ごとにモニタリングを行い、保護者と支援計画の見直しを実施している。	・個別に時間を設定し、モニタリングを行うことで、お子様の発達の状態を詳しく把握し、個別支援計画の見直しを行っている。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、各クラス担当者と共に会議を実施している。	・基本は、相談支援専門員と児童発達支援管理責任者がお子様の情報交換を行い、その後、クラス職員が情報を聞き取るが、必要に応じてクラスやグループ担当者、園長も参画している。
㉒	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて、各関係機関(区役所保健師、子ども総合センター等)と連携をとっている。 ・区役所で毎月実施されている親子あそびや定期的開催される子育て支援部会に参加している。	・入園前から保健師や子ども総合センターが関わっていたお子様に関しては、今後も必要に応じて連携した支援を行っている。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・今年度は、保護者からの情報を中心に対応方法や機器の取り扱いについて確認を行った。	・今後は、必要に応じて様々な機関と連携できるよう取り組んでいく。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・てんかんや糖尿病を有するお子様には、必要に応じて保護者とともに通院に付き添い情報を共有している。	・今後も必要に応じて医療機関との連絡体制を整えていく。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・幼稚園や保育所への移行を希望されるケースには、移行先への引き継ぎ書を作成し、支援内容の情報を共有している。 ・相談支援専門員と連携し、移行先との情報共有を行った。	・今後も対象児がいる場合は、文書だけでなく、見学や事前に撮った動画を見てもらうなどして、情報の共有を図っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の同意を得て、入学先の学校へ書面・口頭で引継ぎを行っている。	・今後も継続していく。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・総合療育センターの訓練士等と連携し、支援の助言や保護者勉強会や職員研修の講師の依頼をしている。 ・他の児童発達支援事業所とも連携し、見学や紹介などの依頼を受け入れている。	・今後も継続して連携していく。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・例年、地域の保育所と交流保育を実施しているが、昨年同様、コロナウイルス感染防止のため、実施されなかった。	・新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、交流保育の準備を進めていく。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・若松区子育て支援部会に参加。 ・若松あんしんネットワークの講演会にも参加している。 ・区の親子遊びの講師として毎月派遣している。	・今後も要請に応じていく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・日々の連絡帳を通して情報を共有し、家庭での様子もうかがっている。 ・内容によっては、電話で直接情報を聞くことで、お子様の課題について共通理解ができるようにしている。	・今後も連絡帳や個人懇談などを通して、保護者の意向や家庭での状況など確認しながら、情報交換し、発達の課題について共通理解できるよう努めていく。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・希望者にペアレント・トレーニング等の勉強会を実施し対応力の向上を図った。	・ペアレントトレーニングの希望者が多かったため、4回シリーズを2グループに分けて実施し、好評だった。 ・今後も保護者のニーズにあった内容を検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・入園時のオリエンテーションで説明し、了承を得ている。	・今後も丁寧な説明を心掛ける。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・児童発達支援管理責任者が個別に、内容の説明を行い、同意を得ている。	・今後も継続して説明し、同意を得ていく。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・個人懇談を年に3回全員実施している。 ・毎日お子様の状態を連絡帳などで情報交換している。 ・家庭での困りごとには、電話での聞き取りや対面で助言を行っている。必要に応じて家庭で使用する教材を保護者と一緒に作成したり、作成方法をアドバイスしている。	・今後も定期的だけでなく、必要に応じて行っていく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・できるだけ父母の会の活動を支援すると共に役員の方との情報交換を密にして保護者同士の連携がとれるよう交流場所などの提供をし、支援している。	・保護者会役員の方の希望に沿って、場所の提供や勉強会の計画を立て、支援していく。 ・役員に負担がかからないように配慮する。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・個人懇談会の他、連絡帳などで相談があった際は、早急に電話で相談に応じたり、対面にて対応している。 ・担当のみで対応が難しい場合は、園長・児童発達支援管理責任者に相談し、朝礼や指導会議などの議題に挙げることで園全体で周知している。	・個人情報保護に配慮し、今後も継続していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・携帯アプリ「コドモン」を活用することで、月の行事や献立、行事への参加などの連絡が迅速に発信できるようになった。 ・ブログの更新の回数を増やしたり、掲載の写真の量を増やして情報を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の度にお子様の様子を写真に撮り、連絡帳でお配りした。 ・今後なるべくリアルタイムで活動の様子が伝えられるように発信していく。
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ケースファイル等のキャビネットは毎日施錠し、その折はファイル数の不足がないかを確認している。 ・資料等の作成は園内で行い、持ち出しは禁止している。 ・降園後は名前の書いてある靴箱やかごなどは、外から見えないように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱い等の必要性を職員に周知徹底し、コンプライアンス研修として個人情報保護に関する研修を毎年行っていく。
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様に合わせ、絵カードやジェスチャー等使用して情報や意思を伝えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモン等を使用し、保護者がスムーズに受信し内容が理解できるように工夫していく。
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に近隣町内に回覧板として広報誌を配付したり、道路に面したフェンスに掲示板を設置し、園の行事やお子様の制作物などを掲載して情報を発信している。 ・地域の文化祭に作品展示を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な対応時に即したマニュアルを策定し、マニュアル委員を指定し、全員が周知できるよう取り組みや見直しを行っている。 ・不審者訓練や様々な災害を想定した訓練を毎月行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練や職員の防犯訓練等の保護者への周知は月のお知らせや、連絡帳、ホームページ等で今後も知らせていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の火災避難訓練と、水害や竜巻など様々な災害を想定した訓練を行っている。 ・災害に応じて一時避難、二次避難まで行っている。 ・年1回消防士の立会いのもと、総合避難訓練を行い、避難方法の見直しや通報訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も連絡帳やホームページで実施したことやお子様の様子を知らせていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談や家庭訪問で、お子様の状況や対応について確認している。 ・個別に必要な薬の管理や発作時の対応方法を書面にまとめ、保護者に確認し、園内やバス乗車時にも対応できるよう職員間で周知し、見直しが必要な場合、定期的に確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じて、対応が変更になった時の他、個人懇談時にお子様の状況や薬や対応の確認をしていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず医師の診断書を提出してもらい、除去食を提供している。 ・毎月、除去食のお子様には保護者に献立の確認を行っていただき、チェックしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、朝礼で確認し、今後の対応策を共有し記録している。 ・報告書を作成し、全員に回覧し周知している。 ・年度末に生じた時間や理由をまとめて、傾向等分析し、職員間で再確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで毎月チェックリストに基づいて振り返りを行っている。 ・虐待防止委員会を設置し、会議を実施している。 ・人権研修も年2回行っている。 ・今年度はウェブでの研修開催が多かったため、全員で視聴し、情報の共有と意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も虐待防止委員会の機能の充実を図っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・バスのシートベルトの固定等、身体拘束等の特別な対応をする場合は、保護者に事前に説明し了承を得たうえで承諾書にサインをいただき、個人懇談等で定期的に経過を確認している。また、その旨を児童発達支援計画に記載している。 ・身体拘束等防止委員会を、年2回行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の同意を得たうえでお子様の状態を日々観察し、定期的に見直しを行なう。 ・身体拘束等適正化検討委員会の機能の充実を図っていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。